

校長室
だよ！

おみっ子

通信

令和6年6月28日

麻績小学校

No. 4



思い合いの心で みんなが笑顔！

6月1日の運動会は、スローガンの通り、「子どもたちが主役」の運動会となりました。多くの保護者の皆様、地域の皆様、ご来校、ご声援ありがとうございました。

その後、どんどん夏が近づいてきて、気温も上がり、活動的になった子どもたちの生き生きとした姿がたくさん見られました。

夏といえば…プール学習が始まります



きれいになって気持ちいい

全校児童が分担して、プール掃除を行いました。1年間分の汚れを落とし、準備オッケーです。25日にはプール開きがありました。

職員は、万が一の事態に備え、救急救命法の講習を行いました。もちろんそんな事態にならないように万全の体制を整えてプール学習に臨みますが、もしもの時に命を救えるようにしておくことは必要です。



心肺蘇生を体で覚える

全校児童、保育園児、中学生とのつながい

6月5日の朝、健康委員会の企画で、全校で「ケイドロ」をやりました。低学年の子たちは小回りをきかせてすばしっこく、高学年の子たちは大きな体の走力をいかして、すべての学年が入



思いっきり体を動かして、全力で遊ぶ



り乱れて校庭中を走り回りました。全校の子どもたちが、夢中になって一つの遊びに取り組める。これもまた「麻績小らしさ」の一つだと思います。これからも大切に取り組んでいきたい活動です。

麻績村は、保小中の連携にも力を入れています。小学校と中学校と保育園が協力して、麻績村の子どもを育てていくことも「麻績

小のよさ、らしさ」の一つです。

「小学校の先生」という仕事を体験するために中学生が来て、3日間、5年生の「先生」になってくれました。お互いに、良い体験ができたと思います。

プールでは、プール掃除の直前の水を抜くタイミングで、保育園の子どもたちが、オタマジャクシをとりに来ました。

保小中の職員が、互いに連絡を取り合い、協力し合うことで、このような学びが生まれています。



中学生の先生と（職場体験）



オタマジャクシをつかまえよう

地域の方や、遠く(外国)から来てくれた先生方との学び



楽しいおしゃべりもしながら

6月20日には、出身は長野県ですが、ドイツなど世界で活躍している音楽家の方が来校し、目の前で演奏をしてくださいました。「本物」に触れるということは貴重な体験です。普段なかなか聴く機会のない生のバイオリンの音色や、超絶技巧で奏でられるピアノの曲などに、子どもたちは引き込まれるように聴き入っていました。

受け身で聴くだけでなく、自然と拍手が起こったり、「ふるさと」の演奏の時は小声で歌詞を口ずさんでいたり、感想などを積極的に発言したり、と子どもたちも一緒に演奏会を盛り上げる、素敵なひとときとなりました。



茶道の作法を学ぶ



糸ノコで木工に挑戦



郷土の料理を作ろう

第二回目となるクラブ活動が行われました。地域の方に講師となっただき、ふるさとのよさや伝統文化などを体験的に学ぶ機会となっています。麻績小学校では、これからも外部からの講師（ふるさとの「ひと」、「本物」をおもちの方、など）を招いて、日々の教科学習だけでは得られない学びを子どもたちが得られるようにしていきたいと思います。

学校の外へ出かけ、その場所ならではの学びを得る

校内では得られない学びを求めて、校外へ出かけていくこともあります。

6年生は、県立歴史館へ行き、大昔の生き物や昔の人々の暮らしなどについて学びました。

現地から送られた写真は全校児童のタブレットでも見られるようにして、校外学習の様子をリアルタイムで紹介しました。

4年生は、学級で取り組んでいるSDGsに関する活動をさらに発展させるため、駒ヶ根にあるJICAの訓練所に行き、国際交流やゴミ問題などについて学んできました。



JICAで学ぶ4年生



江戸時代の地図「麻績あった」



見学の様子を全校で共有



6年生にも学びを伝え、広げる

るJICAの訓練所に行き、国際交流やゴミ問題などについて学んできました。

帰校後、4年担任の小松先生は、6年生にもそのときの様子を伝えました。

このように1つの学年の学びを他学年に広げていくことにも、機会を捉えて取り組んでいきたいと思っています。